

キャラクター名	プレイヤー名
エルシエル・ロア	

メインクラス	ウィザード	Lv.1:	メイジ	レベル	17
サポートクラス	セージ	Lv.1:	シーフ	性別	♀
称号クラス				年齢	217
種族	エルダナーン			境遇	秘密
出自(効果)	一般人			目標	逃亡

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	10	9	9	30	27	30	4
ボーナス	3	3	3	10	9	10	1
クラス修正	0	0	0	3	3	1	1
他修正				1	1	1	
能力値	3	3	3	14	13	12	2

HP	112
MP	182
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	バゼラード	至近	0	4	0	0	0	0	0
左手	バゼラード	至近	0	4	0	0	0	0	0
頭部	妖精女王の髪飾り						5		
胴部	大地の緑衣					23	17		
補助	クラダールリング					17	17		-2
装身具	封精韋編								
能力値			3	0	3	0	12	16	8
スキル									
その他									
総計(右)			3	4					
総計(左)			3	4	3	40	51	16	6
総計(両)			3	8					m
ダイス数			2 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	13			13	+ 2 d
トラップ解除	3			3	+ 2 d
危険感知	13			13	+ 2 d
エネミー識別	14			14	+ 2 d
アイテム鑑定	14			14	+ 2 d
魔術判定	14			14	+ 2 d
呪歌判定					+ d
錬金術判定	3			3	+ d

所持品	
知力 感知 精神のクリスタル	月光の種
魔術師 魔烈 武神のクリスタル	ドレスブック
対抗:威圧のクリスタル	転送石
異次元バッグ	死者払いの水
ランチボックス	3空きバゼラート×4
ポーションホルダー	真理の書
小道具入れ	霊水
ベルトポーチ	グレートMPポーション×5
シースベルト	万能薬×5
レトルトカレー×5	EXMPポーション×10
虹の輝き	グレートHPポーション

現在重量:	22	所持金:	198515	預金・借金:	
最大重量:	22				

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
イモータリティ	★	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果:	《トリビアリスト》を取得する							
マジシャンズマイト	○	-	パッシヴ	-	自身	自動成功		
効果:	魔法攻撃のダメージに+[SLd]する。							
コンセントレイション	★							
効果:								
エアリアルスラッシュ	★							風葬式典
効果:	風葬式典							
アンビデクスタリティ	★							
効果:								
シャドウストーク	★							
効果:								
アースバレット	★							土葬式典
効果:	土葬式典							
ラーニング: ハイドアウェイ	★							
効果:	闇夜式典							
ウォータースピア	★							
効果:	水葬式典							
ファイアボルト	★							
効果:	火葬式典							
マジックブラスト	◇							
効果:								
リゼントメント	★							
効果:								
エルダーマジック	★							
効果:								
マジックゲイザー	★							
効果:								
ブーストマジック	★							
効果:								

217年の時を生きるエルダナーン。ヒューリンの姿が好きでドレスブックでヒューリンの姿になっている。アーシアンよりもたらされた「レトルトカレー」にハマリ、以降毎食カレーの生活をしている。冒険者としての能力は、攻撃魔術、補助魔術、あらゆる魔術を操り敵を打ち倒すメイジ。そのあまりにも多岐に渡る魔術を、携帯している6本のバゼラート、「黒鍵」を用いて制御する。それぞれ赤、青、緑、黄、黒、白の柄になっており、携帯する「封精韋編」に刻まれた魔術を発現させることで魔術を行使する。さらに奥の手として、真理の書、「第七聖典」を所持。これによりさらに精度の高い魔術を行使可能となる。また、魔術の一つにより自分の身を闇に溶けさせることで戦闘時、自らの姿を隠蔽することも行う。彼女を捉えることは難しく、どこから魔術が飛んでくるかわからない状態で戦わなければならない。比較的永く生きているため、知識も豊富。特に文化の知識に長ける。非戦闘時はこれらの知識と補助魔術により自身や味方をサポートする。

経歴は、普通の菓子職人の家に生まれ、普通に育った...が、その身に魔族「ロア」が取り憑いた結果、現在のような魔力量となっている。普通に憧れてはいるが、現在の自身の状態から、普通の生活には戻れないだろうと諦観している。力を使いすぎると自分が魔族になってしまうのでは...という心持ちからあまり力を使いたがらない。しかし、任務に必要とあらば全力で力を使う、ある意味自己矛盾を起こしている。そうしなければ自身がピンチになるから...と高を括っている。自身の魔力を制御するため、「大地の緑衣」、「クラダールリング」等の神具を用いている。こうでもしないと暴走して暴れだしかねないとのこと。この神具の影響か、植物へは慈愛を持って接するようになっている。また、「クラダールリング」については外すと身体に不調をきたすレベルであるため、外そうとしない。

「セブン」と名付けた馬を所持しており、雑に扱う。荷物持ち程度に考えているようだが、「セブン」の方は不服げ。

